

# 令和4年度 果樹情報 第2号

令和4年5月11日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部  
JA会津よつば あいづ西部営農経済センター

## 1 気象概況

会津若松市の令和4年4月の平均気温は11.8℃(平年比+1.7℃)で、平年よりもやや暖かく推移しました。東北地方の1ヶ月予報(仙台管区气象台5/5発表)によれば、向こう1ヶ月の平均気温と降水量は、概ね平年並となる見込みです。

## 2 果樹の生育概況

3月中旬から4月下旬の気温が高く推移したことにより、モモでは開花及び満開が4日程度早まり、リンゴは開花が揃わず満開が6日程度早まりました(表1)。

表1 各樹種の発育状況(平年は1986~2021年の平均値)

樹種		リンゴ		モモ	カキ	オウトウ	ブドウ
品種		ふじ	つがる	あかつき	会津身不知	佐藤錦	シャイン
調査地点		北会津町		神指町	門田町	北会津町	北会津町
発芽日	本年	4/7	4/5	3/25	4/10	4/4	4/28
	平年	4/2	4/1	3/28	4/10	4/1	-
開花日	本年	4/27	4/25	4/16	-	4/16	
	平年	5/1	4/29	4/20	6/4	4/23	-
満開日	本年	4/30	4/28	4/22	-	4/22	
	平年	5/6	5/4	4/26	6/8	4/28	-

## 3 今後の栽培管理

カキの生育は平年並みですが、リンゴ・モモ・オウトウの生育は平年よりも早く進んでいます。管理作業や病虫害防除等は生育に合わせて計画的に実施しましょう。モモは特に、摘らいや摘花を実施しなかった園地が見られます。予備摘果を早めに行いましょう。

### (1) リンゴ

#### ア 予備摘果

結実を確認(落花後7~10日の「ガク立ち」)できる時期になったら、1頂芽(1果そう)当たり1果にする予備摘果を実施します。基本的に、予備摘果では中心果1個を残して側果を全て摘んでしまいましたが、中心果が結実しなかった場合は形の良い側果を1個残します。満開30日後までに終了しましょう。

なお、摘果剤の散布については、結実状況を十分に確認してから実施するようにしましょう。

#### イ 夏季管理

着果量が不足すると徒長枝の発生が多くなるので、主枝や骨格枝の背面、切り口等の不定芽から発生している不要な新梢をかき取り、薬剤の通りを良くしましょう。

#### ウ その他

リンゴモンハマキやモモシンクイガ等が多発している園地では、性フェロモンを利用して交尾を阻害する交信かく乱剤の使用が効果的です。「コンフューザーR」を5

月 10 日頃に、100 本/10a で目通りの高さに設置しましょう。

## (2) カキ

### ア 摘花・摘果

摘らい・摘花は、5月中旬から実施しましょう。その後、生理落果が終了した7月中下旬から摘果を実施し、小果・傷果・奇形果等を中心に修正摘果を行きましょう。

### イ 新梢管理

着果量が不足した場合、5月下旬以降から新梢が多く発生してきます。夏季管理で徒長枝や不要な新梢をせん除する場合は、一度にせん除せず、7～9月下旬にかけて3回程度に分けて実施します。

### ウ その他

昨年、落葉病や炭疽病の発生が多かった場合は、開花直前（5月30日頃）にキノンドー水和剤 80（1000 倍）を散布してください。

## (3) モモ

### ア 摘果

摘らいや摘花を実施しなかった場合や摘らい程度が弱く着果数が多い園地は、予備摘果を実施しましょう。なお、品種により着果量が少ない場合は、5月下旬以降仕上げ摘果から作業を行ってください。

### イ 灰星病

花腐れは果実への伝染源となります。見つけしだい摘除してください。

### ウ モモせん孔細菌病

この病気の対策には発生初期の防除が重要ですので、こまめにほ場を巡回して伝染源である春型枝病斑の早期発見とせん除の徹底に努めてください。春型枝病斑をせん除する際は、罹病枝を可能な限り基部まで切り戻し（図1）、発病部位を残さないよう注意してください。また、樹冠上部の発生を見逃さないように注意し、被害拡大を防止しましょう。



図1 春型枝病斑のせん除位置(写真提供:農業総合センター果樹研究所)

#### (4)ブドウ

##### ア 巻きひげの除去

巻きひげ（図2）は巻きつくると誘引作業の妨げになるだけでなく、晩腐病の発生源になります。巻きつく前に誘引を行いながら除去しましょう。

##### イ 新梢管理

テープナーを使い、主枝延長枝は誘引線に沿ってまっすぐに誘引し、それ以外の新梢は棚線に誘引できるくらいに伸びたら、随時、主枝から垂直に誘引します（図3）。無理に誘引すると新梢の基部から折れることがありますので、折れそうな場合は新梢が柔らかくなるまで数日待ってから誘引しましょう。

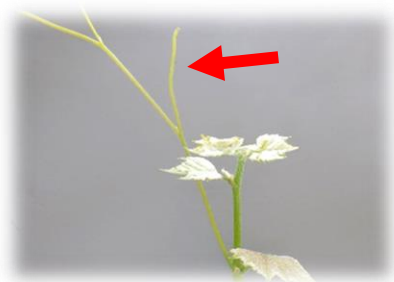


図2：巻きひげ



図3：新梢の誘引

### 農作業事故に気をつけましょう！！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。下記の点に注意し、農作業事故を未然に防ぎましょう！！

- 作業に適した服装をする。
- 点検は安全作業の第一歩。  
機械の日常点検、定期点検を必ず行う。
- 安全フレームのあるトラクターを使用し、シートベルトを着用する。
- 走行時は路面状態や障害物、段差に注意する。
- 作業が終わったら、左右ブレーキを連結する。
- こまめに休憩をとり、体調が悪いときには無理をしない。



農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！